

第2次豊中市公立こども園整備計画策定支援業務に係る書類・面接審査結果について

「第2次豊中市公立こども園整備計画策定支援業務委託」における受託候補者の公募を行った結果、1団体から応募があり、「第2次豊中市公立こども園整備計画策定支援業務委託プロポーザル審査委員会」での審査結果を踏まえ、以下のとおり1者の優先交渉権者の選定を行いました。

今後、優先交渉権者たる受託候補者と契約交渉を行った上で、随意契約の相手方とします。

1 件名

第2次豊中市公立こども園整備計画策定支援業務

2 履行期間

契約締結日から令和7年(2025年)3月31日まで

3 受託候補者

事業者名	株式会社船井総合研究所
代表者名	代表取締役 眞貝 大介

4 公募及び審査経過

(1) 公募経過

令和6年(2024年)

- ①実施要領等の公表；4月17日から
- ②現地説明会の開催；実施なし
- ③質問受付；4月26日まで
- ④提案書類提出期限；5月17日まで

(2) 応募団体

「第2次豊中市公立こども園整備計画策定支援業務委託優先交渉権者選定にかかる気確定難募集要領」に基づき、1者から参加表明書の提出がありました。

【参加表明団体（50音順）】

株式会社船井総合研究所

(3) 審査経過

令和6年(2024年)4月15日 第1回選定委員会

令和6年(2024年)5月24日 第2回選定委員会（書類審査および面接審査）

(4) 選定委員会の構成

※敬称略、順不同

委員名	役職等
◎ 梅本 裕一	(こども未来部 こども事業課 課長)
坂本 篤史	(こども未来部 子育て給付課 課長)
出口 沙織	(こども未来部 こども政策課 課長)
森 崇徳	(こども未来部 こども事業課 主幹)

◎は会長

5 選定理由

本事業の趣旨・目的等を正しく理解し、第2次豊中市公立こども園整備計画策定における様々な経営・運営課題を踏まえ、具体的かつ計画性のある意欲的な企画提案となっていました。

計画策定に伴う人員体制も充実しており、保育ニーズ量や誰でも通園制度のニーズ量にかかる検証を的確に分析するとともに、民間事業者へのヒアリング調査や先進自治体の事例等の情報収集を充実させるなど、公立こども園の果たすべき役割の考え方と統廃合・民営化等も含めた再配置の検討手法について工夫が見られました。

再整備実施園の再整備プランについては、在園児等への配慮や施設の長寿命化・ライフサイクルコストなど多角な視点を踏まえた提案となっていました。

以上を踏まえ総合的に審査した結果、事業の優先交渉権者として選定いたしました。

6 採点結果

(点)

	合計	平均
採点結果	258/400	64.5/100

*採点は選定委員会に出席した各委員の合計得点により確定。

7 担当課

こども未来部こども事業課